

OS標準電源オプション(UPSサービス)を使用する場合の設定

本ケーブルを使用して、WindowsNT4.0 / Windows2000 以降のUPSサービスを利用する場合は以下の内容に従って設定して下さい。本ケーブルはコンピュータの通信ポートとUPSの「 SIGNAL 」ポートに接続してください。

1. WindowsNT4.0の設定

- (1) 「コントロールパネル」から「無停電電源装置(UPS)」をダブルクリックし、「無停電電源装置(UPS)」ダイアログボックスを開きます。



- (2) 以下の内容を参考にし、各フィールドを使って適切な設定を行ってください。設定が終了したら「OK」ボタンをクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

無停電電源装置がインストールされているポート(U)	UPSを接続したCOMポートを選んで設定してください。
---------------------------	-----------------------------

無停電電源の構成	
電源障害信号(P)	正(常時 Low 電位で、信号が入ると High 電位になります。)
バッテリー容量低下信号(L) (最低シャットダウン2分前に警告)	正(常時 Low 電位で、信号が入ると High 電位になります。) 必ずチェックを入れ、有効にしてください。
リモート無停電電源シャットダウン(R)	正(常時 Low 電位で、信号が入ると High 電位になります。)

コマンドファイルを実行する(X)	電源異常時に実行したいコマンドファイルを指定します。
------------------	----------------------------

無停電電源の特性(バッテリー容量低下信号(L) をチェックするため、設定できません)	
バッテリーの予測寿命(E)	設定できません。
稼働1分ごとのバッテリー再充電時間	設定できません。

UPSサービス	
電源障害から警告メッセージまでの時間(T)	5秒(任意の時間を設定してください)
警告メッセージの表示間隔(D)	120秒(任意の時間を設定してください。)

注意 本ボードは擬似的なローバッテリー信号を送出し Windows をシャットダウンするため、必ず「バッテリー容量低下信号(L)」をチェックしてください。

- (3) コントロールパネルの「サービス」をダブルクリックし、「サービス」ダイアログボックスを開きます。
 (4) UPSを選び、「開始」を設定し、UPSサービスを開始します。
 (5) 「サービス」ダイアログボックスを閉じます。

2. Windows2000以降の設定

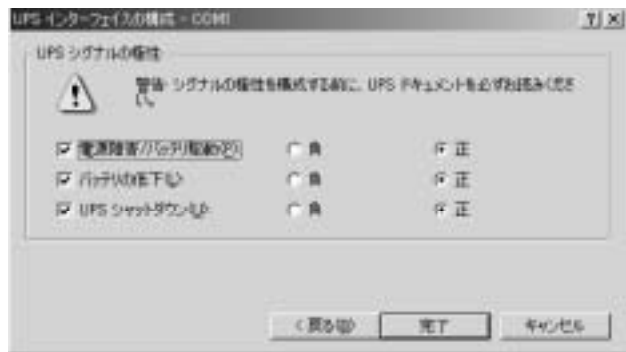
- (1) 「コントロールパネル」から、「電源オプション」をダブルクリックし、「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスを開きます。
 (2) 次に「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスの「UPS」タブを選びます。



- (3) 「詳細」フィールドの「選択(S)」ボタンをクリックし、「UPSの選択」ダイアログボックスを開きます。「ポート(P)」プルダウンメニューからUPSを接続したCOMポートを選択してください。「製造元の選択(S)」プルダウンメニューから「一般」を選択すると「モデムの選択(M)」に「カスタム」が表示されるので選択し、「次へ(N)」ボタンをクリックします。



- (4) 「UPS インタフェースの構成 - COM1」ダイアログボックスが表示されます。以下の内容を参考にして適切な設定を行ってください。設定が終了したら「完了」ボタンをクリックし、「UPS インタフェースの構成 - COM1」ダイアログボックスを閉じます。



UPSシグナルの極性	
電源障害 / バッテリー駆動 (P)	正 (常時 Low 電位で、信号が入ると High 電位になります。)
バッテリーの低下 (L)	正 (常時 Low 電位で、信号が入ると High 電位になります。) 必ずチェックを入れ、有効にしてください。
UPS シャットダウン (R)	正 (常時 Low 電位で、信号が入ると High 電位になります。)

注意 本ボードは擬似的なローバッテリー信号を送出し Windows をシャットダウンするため、必ず「バッテリー容量低下信号 (L)」をチェックしてください。

- (5) 「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスの「UPS」タブ内にある「詳細」フィールドで「構成 (C)」ボタンをクリックし、「UPS の構成」ダイアログボックスを表示します。以下の内容を参考にし、各フィールドを使って適切な設定を行ってください。設定が終了したら「OK」ボタンをクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

すべての通知を有効にする (E)	チェックボックスをチェックしてください。
電源障害が発生したから通知するまでの時間 (秒) (F)	5
その後の通知間隔 (S)	120

警告	
バッテリー駆動開始から警告を発するまでの時間 (分) (M)	任意
アラーム時に、このプログラムを実行する (P)	電源異常時に実行したいプログラムを指定します。
次にコンピュータが行う動作 (N)	シャットダウン
UPS の電源を切る (O) (注)	チェックボックスをチェックしてください。

- (6) コントロールパネルの「管理ツール」から「サービス」をダブルクリックし、「サービス」ダイアログボックスを開きます。
 (7) Uninterruptible Power Supply を選び、「開始」を設定します。
 (8) 「サービス」ダイアログボックスを閉じます。

注意 Windows2000 ではコンピュータが停電シャットダウンした後 UPS は停止しません。これは Windows2000 の仕様であり UPS の故障ではありません。